

ドリコム (証券コード:3793)

Wizardry が核タイトル化。エンタメ・コンテンツ企業へ前進

GIR View

ハイライト

ドリコムは 2025 年 10 月 29 日引け後に「2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算」を発表した。第 2 四半期決算（累計）は、第 1 四半期の基調を引き継ぎ、前年同期比大幅な増収となったものの、損益面では赤字が拡大した。7-9 月期においても、前年同期比増収ながら営業・経常赤字が拡大している。通期業績予想は据え置かれ、通期の営業・経常利益の黒字化を想定しているが、一見、下半期の業績見通しの確度が高まっているようには見えないかもしれない。

しかし、同社の内藤社長が決算説明会で語ったように、下半期からは正常運転に入る可能性が高いと考えられる。

その理由は、新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応を大幅に進めたこと、同社の今後を担う『Wizardry Variants Daphne』が堅調に推移しており、海外市場を含め骨太の IP になりつつあることである。

当面の注目点は、『Wizardry Variants Daphne』のリリース 1 周年効果によって第 3 四半期決算が累計ベースで営業黒字に転換すること、「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略が収益基盤の盤石化につながること、既存運用タイトルの収益安定化が進むこと、コンテンツ事業のうちアニメ放映が進みコンテンツ事業全体を底上げしていくことなどである。

こうした展開の道筋が見えれば、スマホゲーム制作偏重から脱却し、「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換が進み、同社が目指す財務目標（売上高 CAGR20%異常、営業利益率 15%）の確度が高まるだろう。

KEY STATISTICS



主要株価指数

直近株価(2025/10/29)	¥465.00
52 週高値・安値	¥1,064.00/¥418.00
発行済株数（除く自己株式）	28,823,817 株
時価総額	12,403 百万円
PER（会社予想）	- 倍
PBR	5.7 倍
PSR（会社予想）	0.8 倍
配当（配当利回り）	¥0.00(0.00%)

Sector

セクター	情報通信
------	------

財務指標(2026/03 期予想)

売上	17,500 百万円
売上高営業利益率(%)	2.9%
売上高 EBITDA 比率(%)	9.1%

Management

President	内藤 裕紀
URL	https://drecom.co.jp/



2026 年 3 月期 第 2 四半期(中間期)概要:売上高は予想を上回るが『Wizardry Variants Daphne』1 周年に向けた戦略的広告宣伝費の積増しと想定外の一時費用発生

ドリコムは 2025 年 10 月 29 日引け後に「2026 年 3 月期 第 2 四半期(中間期) 決算」を発表した。第 2 四半期決算(累計)は、第 1 四半期の基調を引き継ぎ、前年同期比大幅な増収となったものの、損益面では赤字が拡大した。

7-9 月期においても、前年同期比大幅な増収ながら営業・経常赤字が拡大している。売上高 3,771 百万円(前年同期 1,895 百万円)、営業利益▲493 百万円(同▲247 百万円)、EBITDA▲243 百万円(同▲143 百万円)、経常利益▲509 百万円(同▲265 百万円)、純利益▲563 百万円(同▲868 百万円)となった。

売上高は想定を上回った。とくに自社配信タイトルで主力の『Wizardry Variants Daphne』は順調に推移し(四半期売上高推移:前年 3Q 21.6 億円→前年 4Q 24.8 億円→1Q 23.0 億円→2Q 20.5 億円)、10 月のリリース 1 周年にむけて広告宣伝費を戦略的に追加投入した。さらに、想定していなかった既存タイトルの一部に発生した不正課金に対する対応を行なったため、営業利益は想定を若干下回った模様だ。なお、第 1 四半期で減損対応したタイトルの収益は第 2 四半期に改善している。なお、コンテンツ事業において新作ノベル『汝、暗君を愛せよ』が好調に滑り出している。

2026 年 3 月期 通期業績予想は据え置き

2026 年 3 月期連結業績予想は据え置かれている(売上高 175 億円、営業利益 5 億円、経常利益 4 億円、親会社株主に帰属する当期純損失 13 億円)。

中間期の推移を踏まえると一見高いハードルに見えるが、同社の内藤社長が決算説明会で語ったように、下半期からは正常運転に入る可能性が高いと考えられる。

まず、新規リリースタイトルのうち想定を下回ったタイトルに関する財務上の対応を大幅に進め、今後損益を傷めるリスクが縮小したことである。

次に、同社の今後を担う『Wizardry Variants Daphne』が堅調に推移しており、海外市場を含め骨太の IP になりつつあることである。1 周年を迎えた同タイトルは既存ユーザーの活性化と新規ユーザーの獲得に成功し、10 月単月で 12 億円を超える好調な売上高となっている。活性化されたユーザー基盤の熱量を下げない段取りもできており、下半期を通じて収益引き上げを担うことが期待される。海外展開の進展も予定されている模様だ。『Wizardry Variants Daphne』が骨太の屋台骨になっていく見立てである。

また、既存タイトルについては運用コストの最適化と、アプリ外課金の慎重な導入を進め、収益維持を図る予定である。

今後のポイント：スマホゲーム制作偏重から「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換点に

同社の今後の戦略はスマホゲーム制作偏重から「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換を進めることにある。これによって従来手法のスマホゲーム開発リスクを縮小し、「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略によって収益基盤を強化しつつ、出版・アニメなどで自社 IP を多面的に育成し是々非々で新作ゲームへの展開を行う事業体制に移行することになる。従来よりもリスクを抑制しながら、安定的に成長を目指すことになり、投資家のリスクリターンの認識も良化することが予想される。

こうした文脈を踏まえて、当面の注目点を整理すると以下の諸点になる。

- 『Wizardry Variants Daphne』のリリース 1 周年効果によって第 3 四半期決算が累計ベースで営業黒字に転換すること
- 「Wizardry」ブランドを中心とした IP 戦略が収益基盤の盤石化につながる
 - 海外展開（『Wizardry Variants Daphne』）、コミック化（『Wizardry Variants Daphne』）、アニメ化（『ブレイド&バスタード』）などが目論見通りに収益の盤石化につながる
- 既存運用タイトルの収益安定化が進む
 - 運用コストの最適化、アプリ外課金の導入による収益改善
- コンテンツ事業の黒字化の道筋が見える
 - 出版（ノベル・コミック・webtoon）の順調な拡充
 - アニメ化が進捗と出版・MD（マーチャンダイジング）との相乗効果の発現
 - 2026 年 1 月に放映予定の『エリスの聖杯』の成否、および今後アニメ化が決まっている『ブレイド&バスタード』、『99 回断罪されたループ令嬢』の放送決定

こうした展開の道筋が見えれば、スマホゲーム制作偏重から脱却し、「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業」への転換が進み、同社が目指す財務目標（売上高 CAGR20%異常、営業利益率 15%）の確度が高まる。第 3 四半期の決算動向は、この転換点になりうるため、大きな注目を集めることだろう。



財務データ（連結：四半期毎）

損益計算書（百万円）

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026		
					Q1	Q2	通期会予
売上高	10,528	10,800	9,779	12,655	4,466	3,771	17,500
前年比	-11%	3%	-9%	29%	110%	99%	38%
売上純利益	3,796	4,558	3,404	3,477	1,281	924	
前年比	-5%	20%	-25%	2%	105%	177%	
売上純利益率	36.1%	42.2%	34.8%	27.5%	28.7%	24.5%	
販売費および一般管理費	2,205	2,276	2,501	3,365	1,363	1,417	
前年比	13%	3%	10%	35%	97%	143%	
営業利益	1,591	2,281	903	112	-81	-493	500
前年比	-22%	43%	-60%	-88%	-	-	346%
営業利益率	15.1%	21.1%	9.2%	0.9%	-1.8%	-13.1%	6.1%
経常利益	1,541	2,192	793	53	-107	-509	400
前年比	-24%	42%	-64%	-93%	-	-	650%
当期純利益	807	1,159	104	-1,035	-1,799	-563	-1,300
前年比	-50%	44%	-91%	-	-	-	
当期純利益率	7.7%	10.7%	1.1%	-8.2%	-40.3%	-14.9%	-7.4%

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：会予＝会社予想。百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *Global IR, Inc.の計算による

一株当たりデータ（連結）

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
発行済株式総数(千株)	28,976	29,073	29,130	29,224	29,340
EPS	57.0	28.3	40.7	3.6	-36.1
EPS 調整後	56.9	28.3	40.6	3.6	-36.1
BPS	132.9	159.1	195.7	196.3	162.5
DPS	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *Global IR, Inc.の計算による



キャッシュフロー (百万円)

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
減価償却費	627	537	269	145	526
営業活動によるキャッシュフロー	3,196	1,603	2,666	-473	634
投資活動によるキャッシュフロー	-1,140	-1,766	-2,017	-2,048	-899
財務活動によるキャッシュフロー	969	-388	659	2,413	-1,739

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *Global IR, Inc.の計算による

財務データ (%)

決算期	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025
総資産経常利益率(ROA)	25.2	16.0	20.0	6.0	0.4
自己資本利益率(ROE)	55.0	19.4	22.9	1.9	-20.1
自己資本比率	39.5	46.9	45.6	39.7	34.6

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *Global IR, Inc.の計算による



免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により Global IR, Inc.が作成したものです。

本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。

本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点を Global IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。